

2021年10月20日(水)

### 第36回大量小委・第14回主力化小委に関する意見

松本 真由美

第36回再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会・第14回再生可能エネルギー主力電源化制度改革小委員会合同会議における議題に関して、以下の通り意見を提出いたします。

#### 資料1 中間整理(第4次)(案)

これまでの議論をまとめて頂きまして、大変ありがとうございました。再生可能エネルギー主力電源化を図る上で、中間整理(第4次)(案)に示された全体の施策としては、特に異論はございません。その上で、ご留意頂きたい点についてコメント致します。

P62【FIT インバランス特例における再エネ予測誤差】の費用負担について。今後アグリゲーターが参入することになると、予測技術も競争になり高度化が見込まれるため、一般送配電事業者以外のアグリゲーターにもFIT発電予測を開放し、競争を促す仕組みが望ましいのではないか。

また、アグリゲーターが事業として成り立つのか。収益性が低いとの見方もあり、事業性を検証した方が良いのではないか。

P137【系統情報の公開・開示の高度化】について、今後検討されるとあるが、ノンファームの接続を行うにあたり、その事業性の判断のためには系統潮流のリアルタイム情報の公開が望ましいのではないか。

#### P145 【今後の再エネ電源政策の検討の視点(例)】

「今後の再エネ施策の検討の視点」については理解した。再エネの更なる導入拡大に向けて、「グリーンイノベーション基金」事業で支援している「洋上風力発電の低コスト化」「次世代型太陽電池の開発」が、どれだけ低コスト化や電化の推進に貢献できる可能性があるのか、プロジェクトの進捗を本合同委員会で進捗があれば適宜情報共有してほしい。プロジェクトの進捗が早ければ、導入目標の引き上げが検討できるのではないか。

以上